

茨城県の環境ポスターコンクールで最優秀賞を受賞しました

茨城県主催による、平成21年度ごみの散乱防止と3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進をテーマとしたポスター・標語のコンテストが行われ、五霞中3年生大澤聖さんのポスターが見事に中学校の部で最優秀賞に選ばれました。

大澤さんは「僕の描いたポスターによって少しでもゴミが減ってくれたらいいと思います。こんな素晴らしい賞を頂くことは初めてなので、とても嬉しいです。」と感想を話してくれました。

なお、作品は茨城県生活環境部廃棄物対策課のホームページに掲載されており、掲載されています。



五霞東小学校科学工作クラブが「げんでん科学技術振興奨励賞」を受賞しました

財団法人げんでんふれあい茨城財団が主催する、第12回げんでん科学技術振興事業において、五霞東小学校科学工作クラブが奨励賞を受賞しました。

この事業は、財団が明日を担う児童生徒の科学技術に関する独創性と豊かな創造性を育成するため、県内全ての小中高校の児童生徒から調査・研究計画を公募し、優れた成果を出したグループを表彰しています。

五霞東小学校は、「水辺公園における植生の変化から、町の環境を考察しよう」というテーマで約2年間、植生調査や水質浄化の効果があるという浮島を設置し、その効果を検証する調査研究を行い、今回研究成果が認められました。



権現堂公園で浮きウキフェスタ21が開催されました

ます。水中では炭と植物の根に着生する微生物が水中の汚れを分解し、水質を浄化します。水上では昆虫・小動物・鳥類の生息に役立ち、時には水鳥が卵を産むこともあります。

参加した児童たちにとって浮島づくりは初めての体験だったので、今回の体験を通じ、環境について知る良い機会になったことと思います。

当日作られた合計15基の浮島は、権現堂公園に隣接する行幸湖へ設置されていますので、近くを通った際にはぜひご覧になってください。



11月8日、権現堂公園多目的運動広場（栗橋町）において、川の再生への新たな取組としたイベント「浮きウキフェスタ21」が開催されました。

当日は、親水空間イベントとしてカヌー・ドラゴンボートの体験、水質浄化イベントとして浮島づくりなど様々なイベントが開催され、多くの来場者でにぎわいました。

浮島づくりでは、五霞東小学校の児童とその保護者の方が参加し、浮島1基を作りました。

この浮島は、間伐材と竹でイカダを組み立て、植生袋に炭を入れ水生植物を植え付けて出来上がり

